

じぞうぼさつざぞう 「地蔵菩薩坐像」

松伏町指定有形文化財（彫刻）
昭和50年6月1日指定

むりょうじゆいん かみあかいわ えいきょう ふどうみょうおう
無量寿院(大字上赤岩)は永享2年(1430)創建の真言宗寺院で、不動明王
を本尊とします。じぞうぼさつざぞう ほうこういん
地蔵菩薩坐像は、無量寿院の末寺であった放光院に安置され
ていましたが、放光院を合併した際に無量寿院に移されました。

よせぎづくり ぎよくがん すそ ほうえすいかぞう
寄木造、玉眼、南北朝時代の作で、衣の裾が垂れ下がった「法衣垂下像」と
呼ばれる様式を示しています。これは南北朝時代に鎌倉で流行した作風で、本
像も鎌倉で制作され、当地にもたらされたと推測されています。現在の上赤岩
地区、下赤岩地区を中心とした一帯は、中世期にはあかいわごう しょうみょうじ
赤岩と鎌倉のつながりを示す古文書が金沢文庫に残されています。本像
も鎌倉とのつながりを示す文化財のひとつです。

